

いわき市沿岸全体図

- このハザードマップは、最大クラスの津波が悪条件下において発生した場合に想定される最大の浸水区域と浸水深さを表示したものです。
最大クラスの津波とは科学的知見に基づき設定した、発生頻度は極めて低いものの、発生すれば甚大な被害をもたらす津波のことですが、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
また、震源が陸に近いとより短時間で津波が到達することもあります。
- 表示する津波浸水の区域や深さ、到達の時間にとらわれず、長く大きな揺れを感じたときや津波が発生したら、ただちに高台などへ避難しましょう。

想定津波について

このハザードマップの津波浸水想定は、津波の高さが大きい、過去に福島県沿岸に襲来した津波(①)と今後襲来する可能性がある津波(②)の2つの津波を最大クラスの津波として設定しています。
この2つの津波を対象にそれぞれ浸水シミュレーションを行い、その結果を重ね合わせ、各地点で最大となる浸水区域と浸水深さを抽出した結果がこのハザードマップに反映されています。
また、それぞれで最短となる影響開始時間や津波到達時間を掲載しています。

対象津波	①東北地方太平洋沖地震津波	②房総沖を波源とする津波
マグニチュード	Mw=9.0 Mt=9.1~9.4	Mw=8.4 Mt=8.6~9.0
使用モデル	内閣府モデル (すべり量 0.9~1.3 倍)	茨城県モデル
説明	平成23年3月11日、三陸沖を震源とした地震により発生した津波。 東日本大震災を引き起こし、東北から関東を中心に甚大な被害をもたらした津波の再来を想定。	地震調査研究推進本部から平成23年11月に公表された「三陸沖から房総沖にかけての地震活動の長期評価(第二版)」についてを基に想定した地震。 (平成19年に茨城県で想定した津波「埼玉房総沖地震津波」の震源域等をもとに、すべり量を1.5倍にした想定津波。実際に発生した規模ではないことに留意。)
震源域	 想定津波波源域	

※Mwはモーメントマグニチュード、Mtは津波マグニチュード

津波シミュレーションの条件

津波の浸水シミュレーションは次の条件をもとに行われています。

潮位	朔望平均満潮位 T.P.+0.68m (東京湾平均海面より海面高が68cm高い)
河川内の水位	平水位または朔望平均満潮位と同じ水位
地震動による地盤変動	全域で50cm以上沈降
地形条件	平成30年度末時点の復旧事業を反映した高さ
堤防などの構造物の条件	構造物は地震による破壊や沈下を考慮し、また津波が構造物を越流した際に構造物は破壊されます

※朔望平均満潮位とは各月の最高満潮位を平均した潮位のことです

①久之浜・大久地区

地域海岸名	広野海岸
影響開始時間	14分
第一波到達時間	36分
最大水位	T.P.+14.7m
最大遡上高	T.P.+15.9m

②四倉地区、平地区

地域海岸名	久之浜海岸
影響開始時間	15分
第一波到達時間	33分
最大水位	T.P.+14.0m
最大遡上高	T.P.+15.3m

③平地区

地域海岸名	四倉海岸・平海岸①
影響開始時間	14分
第一波到達時間	30分
最大水位	T.P.+10.8m
最大遡上高	T.P.+12.8m

④小名浜地区

地域海岸名	平海岸②・磐城海岸①
影響開始時間	18分
第一波到達時間	27分
最大水位	T.P.+12.1m
最大遡上高	T.P.+13.6m

⑤小名浜地区

地域海岸名	磐城海岸②
影響開始時間	20分
第一波到達時間	28分
最大水位	T.P.+14.9m
最大遡上高	T.P.+17.0m

⑥勿来地区

⑦勿来地区

地域海岸名	勿来海岸
影響開始時間	21分
第一波到達時間	35分
最大水位	T.P.+11.9m
最大遡上高	T.P.+11.3m

凡 例

避難施設

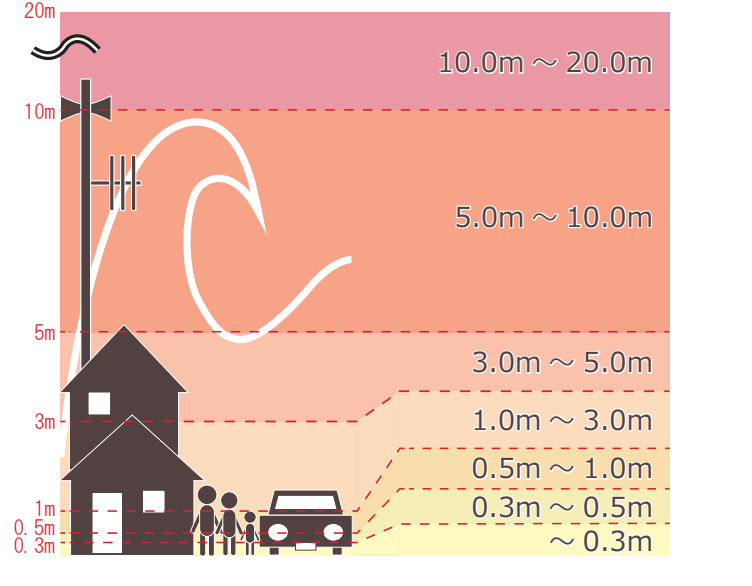
- 津波避難ビル
- 津波避難場所
- (津波を対象とした)避難場所

※表示している避難施設の名前や詳細な位置は該当地区のマップを確認してください。
また避難所の場所についても該当地区のマップもしくはいわき市発行の「防災マップ」などを確認してください。

東日本大震災(3.11)津波浸水区域

津波到達範囲

津波浸水想定区域



測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 3JhS 560